

福井豪雨における当医師会医療救護活動を振り返って

鯖江市医師会会長 齋藤隆治

嶺北を襲った記録的な集中豪雨は、鯖江市東部、隣接町村に未曾有の被害をもたらしました。越前和紙の里で知られる今立町、池田町、漆の里・鯖江市河和田地区では、機械類や原材料、完成された製品までが尽く水に浸かり、地域の地場産業に大きな打撃を与えました。また、堤防決壊のあった北中山地区から片上地区にかけては広範な泥湖と化し、ゴムボートで住民救助に向かう自衛隊員の様子が夕刻のテレビに写し出されました。

急遽、災害地の医師会員宅を見舞うため現場に向いました。2 - 3 人の先生宅の床上まで達する甚大な被害状況を知り、改めて自然の猛威を痛感いたしました。

その夜の自宅の電話は鳴り止まない状況でした。県医務薬務課、保健所、市役所、消防署など、すべてが被災者の救急対応依頼でありましたので、直ちに救急告知病院を中心に、電話・FAX・Eメールなどあらゆる手段を使って緊急連絡を致しました。昨年導入したITネットワークが、始めてその威力を発揮し、その後の情報交換にも大いに役立ちました。

鯖江市災害対策本部から医療救護班の出動依頼があったのは、災害発生 4 日目の 21 日の夜遅くでした。丹南健康福祉センターと鯖江市役所から大勢の方が拙宅に来られ「明日から頼む」とのこと、流石に慌てました。災害に対する危機管理の心構えが全く出来ていなかったことを、この時ほど痛感したことはありません。緊急理事会の開催を考えたのですが、夜中でもあり、とりあえず明日は執行部で対応しよう、と思ったことが結果的に対応の遅れとなってしまいました。後々になって大いに反省しているところです。

それでも何とか救急担当理事の機転により、医師・看護師の確保、並びに医薬品・医療機器の手配が整い、被災地医療支援活動へのスタートを切ることが出来ました。しかし混乱の最中、県医師会から今立町への救援依頼があり、今立地区の先生と相談して、やむを得ず今立町の救護活動は県医師会と武生市医師会をお願いをすることと致しました。

鯖江市医師会が行った 7 月 22 日から 8 月 4 日までの 14 日間に亘る医療救護活動を、カルテの記録から検証し、私見を加えながらご報告したいと思います。

(1) 出務医師について(表1)

公立丹南病院の医師を含む当医師会会員、後半には福井大学医学部の先生方を加え、延べ 32 名の先生方に出務頂きました。原則として午前中或いは午後の半日勤務で、救護所には外科系の医師、巡回診療には内科系の医師が当たることと致しました。

看護師は出務医師が同伴することを原則としましたが、市内4つの訪問看護ステーション所属の看護師や福井大学の看護師さんにも協力を仰ぎ、延べ27名の方々に救護に当たりました。

(2) 受診者数について(表2)

救護室は、災害対策本部のある河和田コミュニティセンター2階の二つの和室を使用いたしました。救護所受診者204名、再受診者24名、巡回診療での受診者23名、合計延べ251名の方が受診されました。受診者は救護所開設後の一週間に集中していますが、多くのボランティアの参加があった日曜日には59名もの多くの方が受診されています。

(3) 受診者の疾患分類について(表3)

怪我の中で釘踏み事故が多かったのは、土石流災害を考えますと頷けます。履物対策は今後の課題でしょう。

「かぶれ」も多かったようです。床下汚泥の除去作業時に多く発生していることから、汚泥には恐らくいろんな起炎物質や細菌などが含まれているのでしょうか。地場産業の「うるし」が原因かと尤もらしい事をいう人もいましたが、カルテでは2-3例がクレゾールや消石灰による皮膚炎という診断でした。

大変な猛暑の中、脱水症・熱中症13名は多かったのでしょうか、少なかったのでしょうか。不眠や鬱といったPTSDを思わせる疾患は、思ったより少なかったようです。しかし、これから「心のケア」が必要になる時期に入るのかも知れません。

連日の猛暑と悪臭、泥まみれの悪条件の中、沢山のボランティアによる献身的な協力と地元の皆さんの懸命な復旧作業により、被害から2ヶ月たった現在、当初の混乱は殆ど無くなり、地元住民の生活は平穏に戻りつつあります。

当医師会における今回の医療救護活動を振り返ってみますと、医療救護活動本来の目的である「被害現場における一刻も早い応急処置、巡回診療による被災者への精神的支え」には、不十分ながらも何とか応えられたのではないかと自負しています。しかしながら、反省点も多くあります。これらを整理検討して、今後の課題としたいと考えています。

(1) まず、市の災害対策本部に医師会関係者が一人も入っていなかったことによる情報不足、つまり、被災地全体の情報把握が出来ず、市から言われるままの対応に終わってしまった反省があります。過去の北陸トンネル事故後に市と結んだ災害協定書を、早急に見直そうと思っています。

(2) 次に、費用弁済についてです。県から出勤要請がなかったこと、県と県医との間に費用弁償協定書が交わされていた事を知らなかったことがあります。これまで全員がボランティア精神で頑張ってきましたし、費用弁償なんて思っても見ませんでした。しかし、少なくともご協力頂いた大学の先生方

には適用して欲しかったと、今になって残念に思っています。

最後になりましたが、ご多忙のなか救護活動に参加いただいた県医師会医療班、並びに武生市医師会の先生方、福井大学医学部の先生方、ボランティアを頂いた沢山の看護師の皆様、そして我が医師会会員の皆様には心からのお礼を申し上げますと共に、多数の医薬品、医療機器を提供頂いた福井県医薬品卸業協会様、増田医療器械様には深甚の感謝を申し上げ、当医師会救護活動の報告と致します。

救護活動参加医師数（表1）

月 日（曜）	救護室医師		巡回診療医師		看護師	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後
7：22（木）	0	0	0	2	0	0
7：23（金）				1	0	1
7：24（土）	1	1	1	1	1	1
7：25（日）	1	1	1	1	2	2
7：26（月）		1	1			1
7：27（火）		1		1		2
7：28（水）		1		1		2
7：29（木）	1	1		1	1	2
7；30（金）	1	1		1	1	1
7：31（土）	1	1		1	1	2
8： 1（日）	1	1		1	1	3
8： 2（月）	1				1	
8： 3（火）	1				1	
8： 4（水）	1				1	
計	9	9	3	11	10	17

出務医師数：32名 出務看護師数：27名

被災地受診者数（表2）

	救護所受診者		巡回診療 受診者	計
	初診	再診		
7月23日（金）	0	0	5	5
7月24日（土）	14	0	0	14
7月25日（日）	57	1	1	59
7月26日（月）	25	4	5	34
7月27日（火）	20	3	1	24
7月28日（水）	8	4	3	15
7月29日（木）	20	3	2	25
7月30日（金）	10	2	3	15
7月31日（土）	22	0	1	23
8月1日（日）	20	3	2	25
8月2日（月）	1	3	0	4
8月3日（火）	4	0	0	4
8月4日（水）	3	1	0	4
計	204	24	23	251

受診者：251名（救護所受診204名 巡回診療受診24名 再受診23名）

受診者の疾患分類（表3）

- （1）怪我（59例）
打撲・擦過傷（29例）化膿（11例）釘による刺傷（10例）切傷（9例）
- （2）皮膚疾患（53例）
接触性皮膚炎（39例）虫刺症（蜂10例）日光過敏症（1例）汗疹（1例）
脂漏性湿疹（1例）足白癬（1例）
- （3）眼疾患（17例）
急性結膜炎（16例）眼精疲労（1例）
- （4）関節・筋肉疾患（19例）
腰痛・関節痛・筋肉痛など（18例）捻挫（1例）
- （5）熱中症・脱水症（13例）

- (6) 中毒 (3 例)
 クレゾール、消石灰による中毒か (3 例)
- (7) 内科領域の疾患 (53 例)
 急性胃腸炎・便秘 (8 例) 食欲不振 (3 例) 肛門出血 (1 例) 過敏性腸症候群 (1 例) 誤嚥 (1 例)
 高血圧 (14 例) 下肢浮腫 (4 例) 不整脈 (1 例) 右半身不全麻痺 (1 例)
 肺炎・上気道炎・口内炎 (12 例) 頭痛 (5 例) 膀胱炎 (1 例) 糖尿病 (1 例)
- (8) 精神科領域の疾患 (26 例)
 過労・倦怠感 (16 例) めまい (5 例) 不眠 (3 例) 鬱 (1 例) 過換気症候群 (1 例)

参考資料 (福井豪雨発生から 7 月 20 日 12 時までの救急事案)
 鯖江・丹生消防組合消防本部の資料より

	性別	年齢	事故種別	出動車両	事故概要	傷病	程度
1.	女	50	急病	救急車	動けない	右足骨折	中等度
2.	男	51	一般	防災ヘリ	移動できず	手首骨折	中等度
3.	男	76	急病	救急車	病気急変		中等度
4.	女	99	一般	防災ヘリ	転落事故	大腿骨骨折	重症
5.	女	61	急病	防災ヘリ	めまい・寒気		軽症
6.	男	76	急病	救急車	避難出来ない	自宅療養中	軽症
7.	女	82	急病	救急車	在宅酸素中	呼吸不全	中等度
8.	女	52	一般	救急車	転倒	右上腕骨骨折	中等度
9.	女	61	急病	救急車	胸痛	心筋梗塞	重症
10.	男	26	急病	救急車	胃痛	胃潰瘍	中等度
11.	女	45	急病	救急車	呼吸不全	過換気症候群	中等度
12.	男	36	急病	救急車	気分不良	シンナー中毒	軽症
13.	男	81	急病	救急車	気分不良	呼吸不全	中等度